

CALSAT 3 2のマクロ仕様書

(2010/05/01 版)

マクロ文の構成

- ・マクロ文は、ラベル名、コマンド名、フォーム名、ボタン名、演算式、分岐先ラベル名、コマンド実行日時から構成される。
- ・ラベル名、コマンド名、フォーム名、ボタン名、比較式、分岐先ラベル名、コマンド実行日時の区切りは半角スペース文字とする。
- ・先頭の1文字が半角文字 ' ' である場合にはコメント行と見なす。また空白行は無視される。
- ・行の途中で半角文字 ' ' がある場合にはそれ以降をコメントと見なす。

ラベル文

ラベル文は行の先頭から半角文字 : までと解釈する。

コマンド名

コマンド名にはつぎのものがあり、半角大文字で記述する。(アルファベット順)

| | |
|---------------|------------------------------------|
| !X=, !Y=, !Z= | 演算式の結果を変数に代入する |
| CLICK | ボタン名で指定したフォーム上のボタンを押した動作を行う |
| END | マクロ行の最終行を示し、実行を終了する (END 以降は無視される) |
| EXIT | マクロ行の途中で実行を中断してマクロ処理を抜け出す |
| GOTO | 分岐先ラベルに制御を移す |
| GOSUB | サブルーチンに実行を移す |
| HIDE | フォーム名で指定したフォームを非表示にする |
| IF | 比較式を評価して、真であれば分岐先ラベルに制御を移す |
| NOP | ポインタを1つ進める |
| RETURN | サブルーチンの実行を抜ける |
| SHOW | フォーム名で指定したフォームを表示する |

(例)

```
SHOW frmSatSelect
CLICK Sat1
CLICK A-3
HIDE frmSatSelect
END
```

フォーム名とボタン名

フォーム名と実行可能なボタンの名前はずつぎのとおり。

frmMain (CALSAT32 メインフォーム)

Sat1,Sat2,Sat3,Sat4,Sat5,Sat6(衛星タイトル)

ToolBar00, ToolBar01, ToolBar02, ToolBar03, ToolBar04, ToolBar05

(ツールバーのユーザー定義ボタン 00~05)

frmSatSelect(衛星の選択フォーム)

A-1,A-2,A-3,A-4,A-5,A-6 (直接衛星グループと番号を指定)

B-1,B-2,B-3,B-4,B-5,B-6

.

Y-1,Y-2,Y-3,Y-4,Y-5,Y-6

Z-1,Z-2,Z-3,Z-4,Z-5,Z-6

frmFT847(FT847 制御パネル)

FT847PortSet COM ポートのオープン

FT847ControlCat FT847 との通信開始

FT847ControlSat ビーコンモードとサテライトモードの切り替え

FT847ControlPtt 送受信の切り替え

FT847LinkFreq SATINFO.TXT に記述された周波数等の取り込み

FT847LinkConv SATINFO.TXT に記述されたコバート情報の取り込み

FT847TrackNor 順ヘテロダインモードでトラッキング

FT847TrackRev 逆ヘテロダインモードでトラッキング

FT847TrackDop ドップラーシフトの自動補正

frmIC820(IC820 制御パネル)

IC820PortSet COM ポートのオープン

IC820ControlCiv IC820 との通信開始

IC820ControlSat ビーコンモードとサテライトモードの切り替え

IC820LinkFreq SATINFO.TXT に記述された周波数等の取り込み

IC820LinkConv SATINFO.TXT に記述されたコバート情報の取り込み

IC820TrackNor 順ヘテロダインモードでトラッキング

IC820TrackRev 逆ヘテロダインモードでトラッキング

IC820TrackDop ドップラーシフトの自動補正

frmIC901(IC910 制御パネル)

IC910PortSet COM ポートのオープン

IC910ControlCiv IC910 との通信開始

IC910ControlSat ビーコンモードとサテライトモードの切り替え

IC910LinkFreq SATINFO.TXT に記述された周波数等の取り込み

IC910LinkConv SATINFO.TXT に記述されたコバート情報の取り込み

IC910TrackNor 順ヘテロダインモードでトラッキング

IC910TrackRev 逆ヘテロダインモードでトラッキング

IC910TrackDop ドップラーシフトの自動補正

frmTS2000(TS2000 制御パネル)

TS2000PortSet COM ポートのオープン

| | |
|------------------|-------------------------------|
| TS2000ControlPc | TS2000 との通信開始 |
| TS2000ControlSat | ビーコンモードとサテライトモードの切り替え |
| TS2000ControlPtt | 送受信の切り替え |
| TS2000LinkFreq | SATINFO.TXT に記述された周波数等の取り込み |
| TS2000LinkConv | SATINFO.TXT に記述されたコバート情報の取り込み |
| TS2000TrackNor | 順ヘテロダインモードでトラッキング |
| TS2000TrackRev | 逆ヘテロダインモードでトラッキング |
| TS2000TrackDop | ドップラーシフトの自動補正 |

frmRotator(アンテナ制御パネル)

| | |
|---------------------|----------------|
| RotatorAuto | 自動追尾 |
| RotatorAutoFlipMode | 自動追尾 (フリップモード) |
| RotatorManual | 自動追尾停止 |
| RotatorPreset1 | プリセット 1 |
| RotatorPreset2 | プリセット 2 |
| RotatorPreset3 | プリセット 3 |

演算式

演算式は (クエリ値 演算子 値)、(変数 演算子 値)、(クエリ値)、(値)で記述します。

- クエリ値にはつぎのものがああります。

| | |
|-----------------|-------------------------|
| SatAzimuth? | 衛星の方位 |
| SatElevation? | 衛星の仰角 |
| SatRange? | 観測点と衛星の距離 |
| SatRangeRate? | 観測点と衛星の距離変化 |
| SatSquintAngle? | 観測点の視線方向からの衛星アンテナ指向性のずれ |
| SatMa? | 平均近点離角 |
| SatRev? | 周回数 |
| Now? | 現在の日付と時刻 |

- 演算子にはつぎのものがああります。

+,-,*,/,=,>,<,>=,<=,<>,

- 値にはつぎのような書式で記述します。

1,20,-301 などの整数
0.23,-3.14 などの小数
2.46e+3,4.567e-6 などの指数
#2006/09/01 12:00:00# の表現による日時

- 変数にはつぎのものがああります。(変数を使う場合には初期化が必要です)

!X,!Y,!Z (!X=!Y=!Z=コマンドで変数に値が代入できます)

(例)

```
IF (SatElevation? > 85) *FlipMode
!X= (100)
!Z= (!X + !Y)
IF (!X = !Y) *SetFt847Frequency
```

分岐先ラベル名

分岐先ラベル名にはラベル名の前に半角の*が付きます。ラベル Abc: を分岐先に指定するときには *Abc となります。

(例)

```
*Abc123
*AOS した時
*仰角が 0 度以下になった時の処理
```

コマンド実行日時

コマンド実行日時を指定すると、指定した日時に達するまで該当行の実行を留保します。記述の書式は日付と時刻を[]でくくります。

(例)

```
[2000/01/01 00:00:00]
[2010/12/31 23:59:59]
```